

平成29年9月11日

杉並区議会議長
富本 卓 様

道路交通対策特別委員会
委員長 松浦 芳子

道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成29年6月13日

(1) 報告聴取

ア 外環等について

(ア) 外環道の進捗状況

東名ジャンクションでは平成29年2月にシールドマシン発進式が行われ、大泉ジャンクションでは本線シールドマシン発進のための立杭工事などが進められている。なお用地の取得状況は、平成28年11月末日において外環道全体では面積ベースで90%となっているとのこと。

(イ) 外環オープンハウス開催概要

平成29年3月11日から16日まで、6区市7会場で開催され来場者は計534名。杉並区では井荻小学校で開催され、参加者は112名であった。主な内容はシールドトンネル工事や現在の進捗状況などであり、主な意見は本線トンネル工事、家屋調査に関するものなどであったとのこと。

(ウ) 家屋調査について

本線トンネル工事に起因し建物等の損害が発生した場合の補償について、ネクスコ東日本では工事実施前に家屋調査を実施している。平成29年4月末日現在で、調査等を辞退した世帯を除き全ての調査を完了し、調査結果報告書の配付を行っているとのこと。

(エ) 外環の2について

都から話し合いの会を休止する旨の連絡があり、今後都は、平成20年に明ら

かにした検討の視点とプロセスに基づき、広く意見を聞きながら検討を進めていくとのこと。

イ 自転車対策と南北交通について

(ア) 自転車放置防止対策

区のこれまでの有料制自転車駐車場の整備などにより駅周辺の放置自転車は年々減少しているが、買い物等の一時利用で短時間に放置される自転車の対策が課題になっているとのこと。

区立の有料制自転車駐車場は、現在区内 40 カ所となっており、収容台数は平成 28 年度末で 25,847 台。自動二輪車置場の整備状況については、昨年度に有料制自転車駐車場を活用し、区内 5 カ所に自動二輪車置場を整備したとのこと。また民営自転車駐車場の育成補助については、平成 28 年度は 1 件の建設補助を行っているとのこと。

放置自転車防止の啓発活動に関して、平成 29 年 3 月末現在、19 駅で 415 名の協力員が放置自転車への注意活動を行っている。また平成 28 年 10 月に区内 5 駅で放置自転車クリーンキャンペーンを実施し、参加者は延べ 406 名であったとのこと。

(イ) 南北交通について

路線ごとの利用者については、昨年度はけやき路線では増加しているが、さくら、かえで路線ではわずかに減少しているとのこと。

(ウ) 交通安全対策の取組み

区内の交通事故件数は年々減少しているが、自転車関与率は依然として都内平均を上回っていることから、自転車の安全利用を大きな課題と捉え、以下のような交通安全の啓発活動を実施しているとのこと。

- ・自転車安全利用実技講習

主に区立小学校の 4 年生が対象で、昨年度は 42 回実施している。

- ・スケアード・ストレート

スタントマンによる自転車事故を再現した自転車安全利用講習会。区立中学生と一般向けに実施している。

- ・子供用自転車ヘルメットのあっせん販売

平成 28 年度の販売個数は 105 個。

- ・高齢者ドライバーの運転免許証自主返納支援の促進

75 歳以上で自動車運転免許証を自主返納した高齢者に、I C 乗車券を支給している。昨年度は 571 名の申請があった。